

日本ヴァージニア・ウルフ協会

7月例会

言語社会研究科共催

日本ヴァージニア・ウルフ協会の2023年度7月例会（一橋大学言語社会研究科共催）を下記の要領で開催いたします。

例会日時：2023年7月16日（日）

14:00～17:15 例会（17:15～18:00 懇談）

会場：一橋大学国立（東）キャンパス 東2号館2201教室

研究発表：

1. 田口嵩人氏（一橋大学大学院博士後期課程）
E・M・フォースターの『インドへの道』における結びつきと情動——嗅覚と触覚——
(Connection and Affect in E.M. Forster's *A Passage to India*: Olfaction and Tactility)
2. 加太康孝氏（都留文科大学講師）
ダロウェイ夫人のパーティ—短編作品群における中年登場人物の若さ
(Youth of the Middle-Aged Characters in Mrs Dalloway's Party Short Story Cycle)
3. 四戸慶介氏（岐阜聖徳学園大学講師）・菊池かおり氏（大東文化大学准教授）
社会・世界の分断と（英語）文学・文化研究
(“Literary/Cultural Studies within A Divided Society/World”)
4. 齋藤一氏（筑波大学准教授）
中動態、原爆文学、ウルフ——柳瀬（2022）への応答——
(Middle Voice, Genbaku Literature, Woolf: A Response to Yanase (2022))

問い合わせ先：言語社会研究科 中井亜佐子